

令和7年度

事業報告

## 1 事業の概要

令和7年度は、6年度の事業実績を踏まえ、多くの事業で前年を上回る実績を残すことが出来るなど、財団事業を順調に進展させることができた。

その中でも特筆すべきは、11月に開催された「東京2025デフリンピック」に向けての展開である。7月に開催した障害者施策課からの委託事業である応援イベントでは区内在住のデフ卓球の亀澤理穂選手やデフビーチバレーボールの伊藤碧紀選手を招聘し、トークショーなどを行った。また、同イベント内において財団の自主事業として、日本デフ陸上競技協会の協力により、下高井戸にある都立中央ろう学校出身の山田真樹選手をはじめとするデフ陸上の選手が来場し、スタートランプの体験等を行ったところ300人を超える参加者を集めた。都立中央ろう学校とは、デフリンピックに向けてこの間、様々な協力連携関係を深めてきたが、その影響もあったと考えられる。一方で、阿佐谷商店街振興組合と連携し、パールセンターに区民のデフリンピック出場選手の応援横断幕の掲出を行うなど、デフリンピックの区民周知を図った。

その結果、デフリンピックの観戦事業として東京体育館においてデフ卓球競技に定員100名のところ、600名を超える応募があるなど、デフリンピックの普及啓発には一定の役割を果たせたと考えている。

また、区民歩こう会やファミリー駅伝といった、例年開催している恒例事業についてはそれぞれ好評を博しながら全事業を無事故で終えることが出来た。

こうした状況を踏まえ、今後も区の健康スポーツライフ杉並プラン及び財団スポーツ推進プランに沿った区民の健康づくりやスポーツの普及に向けた歩みを引き続き着実に進めていく。

### (1) スポーツ及び文化等に関する教室・講座の実施並びにスポーツに関する各種大会の運営に関する事業(第1号事業)

令和6年度に引き続いて、民間では実施することができない公益性の高い事業を実施した。都立高校の体育施設開放事業を活用し、3年目となった「杉並子ども歌舞伎塾」をはじめ、夜間に小学生対象と大人を対象とした2つの「スポーツチャレンジ教室」を開講した。

地域に出向いた出張教室事業は、地域におけるスポーツ活動の基盤づくりを主体的に担う財団にとって欠かせない事業である。令和7年度は、ゆうゆう館・ケア24・学校支援本部などの協力を得て、延べ346人の参加があった。また、区立障がい者施設への出張教室も昨年度の8回から今年度は10回に増えている。

恒例となっている春と秋の「区民歩こう会」は、今年度も区民実行委員会と協議を進めながら実施し、春秋とも好天に恵まれた中、合計で350人の参加があった。

10月13日のスポーツの日に実施した「スポーツフェスティバル」では、昨年並となる3,245人の参加があったのをはじめ、応援するスポーツでは「東京2025デフリンピック」の期間中にデフ卓球の区民観戦デーを実施したのは前述のとおりである。また、「すぎなみ名物ファミリー駅伝」は、例年2月に蚕糸の森公園で実施しているが、今年度も天候に恵まれ、多くのボランティアや実行委員会の支援・協力が得られたこともあり、これらの方々も含め、210人の参加があり大盛況であった。

一方で、区スポーツ祭は、杉並区スポーツ協会及び杉並区スポーツ・レクリエーション協会などに所属する団体をはじめとする参加者が各施設でそれぞれの種目に躍動し、合計で13,511人の参加があったが、大きな事故もなく全種目とも無事に終えることができた。また年末には初の試みとして、区役所区民ギャラリーにおいて東京都スポーツ大会で優勝したスキ

一連盟等の優勝旗やメダルなどを展示し、スポーツ協会の活動実績を区民に周知する機会を設けた。

## (2) スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業(第2号事業)

区内スポーツ団体の活動が安定して行われ、より発展するよう育成・支援するとともに、スポーツの指導者を育成する事業を実施した。

スポーツ関係団体の育成・支援では、区立小学校等を中心とした専門家派遣事業は1,595人の利用があり、昨年度の実績を上回った。また、児童館等連携事業も3,010人と昨年度を600人以上上回る増加となった。

指導者養成事業では、昨年度に引き続き、「初級パラスポーツ指導員養成講習会」を実施し、20人が資格取得を達成した。また、区から受託している「すぎなみスポーツアカデミー」で3年目となる「スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会」においては、受講した27人のうち23人が修了し、(公財)日本レクリエーション協会公認「スポーツ・レクリエーション指導者」の資格を取得する対象者となった。さらに杉並区スポーツ協会や杉並区スポーツ少年団などとの協力のもとに開催する地域スポーツ関係団体専門科目には64人の参加があった。

また、民間障がい者通所施設への「スポーツ・レクリエーションの出張教室」は、令和6年度の612人から7年度は815人と参加者大幅増の結果となっている。

## (3) スポーツの振興及び地域振興のための普及啓発事業(第3号事業)

区民のスポーツ活動を促進するため、広報紙の発行やホームページ、SNSの活用により、地域のスポーツ情報の広報周知活動を実施した。

令和7年度は、財団の広報紙「マイスポーツ すぎなみ」を前年度と同数である年5回、742,050部発行し、新聞折込みや区内施設に配布した。

また、財団のホームページも事業実施やイベント情報の積極的な発信のため、更新を頻回に実施した結果、アクセス数は昨年度比約33%増の246,619件となった。

## (4) 杉並区から受託するスポーツ及びレクリエーション事業(第4号事業)

令和5年度から受託している区のユニバーサルタイム支援業務は、7年度22回(荻窪体育館6回、TAC杉並区上井草スポーツセンター12回、TAC杉並区永福体育館4回)行った。ユニバーサルタイムの当日の準備・運営支援のほか、障害者スポーツネットワーク会議の運営支援(議事録作成等)、ポスターチラシの配布作業を始めとするユニバーサルタイムの周知支援等を行った。また、障がいのある人もない人も気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション体験の機会を提供する「ふれあいフェスタ」は、地域、団体とのつながりを活かした広報周知を強めた結果、昨年度を上回る314人の参加があり、こちらも大変盛況であった。

## (5) 杉並区から受託するスポーツ施設の管理及び運営に関する事業(第5号事業)

令和7年度の業務委託契約に基づき、蚕糸の森公園運動場及び杉並第十小学校温水プールの受付管理等業務を行った。これらの施設について、区民が安全・安心に利用できるよう努めた。

## (6) その他

令和7年度は「東京2025デフリンピック」を機にスポーツを通して障害理解と共生社会の考え方が浸透したと年と言えるのではないだろうか。スポーツ振興財団でも前述のとおり、

杉並区聴覚者協会や都立中央ろう学校等との連携を深め、7月に実施した応援イベントをはじめ、11月の大会観戦デーの開催など、その普及と周知に尽力した。

また、3月には「ふれあいスポーツ・レクリエーション体験会」において、ジャベリックスローをはじめとする全国障害者スポーツ大会の種目を初めて導入した他、4年目となったeスポーツコーナーも好評を博した。さらに同月にはスポーツ庁や東京都も推進する「eスポーツ教室及び体験会」を杉並障害者福祉会館で障害者や高齢者施設職員を対象として初めて実施し、今後の普及に向けて一石を投じることができたのではないかと考えている。

一方で広報・周知活動を強化する取組を積極的に進めた結果、ほとんどの事業で前年と比較し、参加者が大きく増加した。また、都立高校の体育施設開放事業を活用し、前年から引き続き、「スポーツチャレンジ教室」など財団独自の事業を展開した。

令和8年度は、令和7年度の実績を踏まえ、児童館等連携事業や出張教室等の事業を中心に、健康スポーツライフ杉並プランで位置付けられている地域におけるスポーツ活動の基礎づくりを主体的に担う役割を進めるため、対象施設の拡大を図るなど一層の創意工夫に努めていきたい。

# 事業実績 総括表

事業名	開催場所・その他	事業規模等	
スポーツ及び文化等に関する教室・講座の実施並びにスポーツに関する各種大会の運営に関する事業 (第1号事業)	都立高校、区施設及び民間施設を利用した教室	事業	9事業
		延参加者	1,420人
	野外事業	事業	4事業
		延参加者	608人
	共催事業	事業	4事業
		延参加者	596人
	イベント・大会等	事業	8事業
		延参加者	19,533人
スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業 (第2号事業)	スポ・レク体験事業	事業	1事業
		延参加者	107人
	スポーツアドバイザーの派遣	事業	1事業
		延参加者	259人
	専門家派遣・児童館等連携事業	事業	2事業
		延参加者	4,605人
	スポーツ・レクリエーションの出張教室	事業	1事業
		延参加者	815人
	すぎなみスポーツアカデミー	事業	1事業
		延参加者	343人
	杉並区スポーツ協会、杉並区スポーツ・レクリエーション協会等の支援	事業	
		延参加者	
	講演会・講習会の開催	事業	1事業
		延参加者	56人
	総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援	事業	1事業
		延参加者	21人
初級パラスポーツ指導員養成講習会	事業	1事業	
	延参加者	60人	
スポーツ用具の貸出	事業	1事業	
	延貸出件数	99件	
スポーツの振興及び地域振興のための普及啓発事業 (第3号事業)	広報紙の発行	742,050部	
	財団ホームページ	財団が実施した事業等の情報を掲載し、広く発信した。	
	SNS	SNSを活用し、機動的に身近なスポーツに関する話題や教室等の情報発信を行った。	
	歩っとすぎなみ	区内等のウォーキングのマップによる情報提供を行った。	
杉並区から受託するスポーツ及びレクリエーション事業 (第4号事業)	プール	種目	22種目
		延参加者	2,795人
	教室・イベント	事業	5事業
		延参加者	1,653人
区の事業への応援	事業	2事業	
杉並区から受託するスポーツ施設の管理及び運営に関する事業 (第5号事業)	運動場	延利用者	25,011人
	温水プール	延利用者	87,364人
延参加者・延利用者総数			145,246人

## 2 事業実績

当該年度における1年間の事業実績は次のとおりである。

### (1) スポーツ及び文化等に関する教室・講座の実施並びにスポーツに関する各種大会の運営に関する事業 (第1号事業)

多くの区民が、スポーツに親しみ、生涯にわたりスポーツに参加できるように、教室や講座を実施するほか、区民のスポーツの普及を図るため、各種大会やイベントを開催する。

#### ▼ 学校施設を利用した教室

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
杉並こども歌舞伎塾 ※ <sup>1</sup>	都立西高校	小学生～高校生	10月～1月	12 回	81 人
スポーツチャレンジ教室	都立豊多摩高校	小学生～一般区民	7月～8月	8 回	147 人
都立学校団体使用	都立豊多摩高校	小・中学生	7月～2月	12 回	332 人
延参加者合計					560 人

#### ▼ 他の指定管理施設及び民間施設等を活用した教室

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
スポーツ・レクリエーションの出張教室	沓掛小学校、松庵小学校、高南中学校ほか	一般区民	4月～3月	14 回	346 人
スポーツ・レクリエーションの出張教室	区立障がい者施設	障がい者	4月～3月	10 回	105 人
ふれあいフットサル	高円寺みんなの体育館	障がい者	4月～2月	6 回	69 人
ウォーキングフットボール	高円寺みんなの体育館	障がい者、一般区民	5月～3月	6 回	115 人
ビーチスポーツ	TAC杉並区永福体育館 ビーチコート	一般区民	11月	2 回	83 人
eスポーツ教室及び体験会	杉並障害者福祉会館	障がい者 高齢者・障がい者施設職員	3月	1 回	39 人
杉並こども歌舞伎塾体験会 ※ <sup>1</sup>	高井戸第二小学校	小学3年生～高校生	8月	1 回	16 人
杉並こども歌舞伎塾発表会 ※ <sup>1</sup>	浜田山会館	一般区民	1月	1 回	87 人
延参加者合計					860 人

※<sup>1</sup> 杉並こども歌舞伎塾については、体験会、発表会もあわせて、1事業としてカウントしている。

#### ▼ 野外事業

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
区民歩こう会(春)	築地～お台場	一般区民	5月	1 回	189 人
区民歩こう会(秋)	青梅市	一般区民	11月	1 回	161 人
ファミリー駅伝	蚕糸の森公園運動場	一般区民	2月	1 回	176 人
カヌー教室	青梅市多摩川	小学生親子	8月	2 回	82 人
延参加者合計					608 人

▼ 共催事業

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
ゴルフ体験教室	ハイランドセンター	一般区民	5～6月	1回	47人
わんぱく相撲大会	阿佐ヶ谷中学校	小学生	5月	1回	194人
ふれあいスポ・レクまつり	荻窪体育館	一般区民	4月	1回	308人
スキー教室	菅平高原スノーリゾート	一般区民	3月	1回	47人
延参加者合計					596人

▼ イベント・大会等

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
都スポーツ大会派遣	都内体育施設	一般区民	5月～3月	1回	414人
スポーツフェスティバル東京派遣	都内体育施設	一般区民	10月～12月	1回	189人
都民スポレクふれあい大会派遣	都内体育施設	一般区民	9月～11月	1回	77人
応援するスポーツ	味の素スタジアム、東京体育館	小学生、一般区民	6月～11月	3回	1,211人
スポーツフェスティバル	区内体育施設	一般区民	10月13日	1回	3,245人
スポーツ始めキャンペーン	区内体育施設等(18施設)	一般区民	10月～1月	1回	619人
スポーツコンシェルジュ	区内体育施設等(7施設)	一般区民	10月・3月	2回	267人
延参加者合計					6,022人

事業名	開催場所	対象者	実施月等		延参加者
杉並区スポーツ祭					
総合開会式	セシオン杉並	一般区民	6月	1回	72人
夏季大会(2競技)	和田堀公園プールほか		7月～9月	1回	418人
秋季大会(23競技)	区立体育館、運動場ほか		5月～12月	1回	10,269人
冬季大会(3競技)	区立運動場ほか		9月～3月	1回	1,589人
スポ・レク大会(15競技)	区立体育館ほか		6月～1月	1回	1,163人
延参加者合計					13,511人

総事業数	25事業	延参加者総数	22,157人
------	------	--------	---------

## (2) スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業（第2号事業）

区内のスポーツ団体及び公的な団体等のスポーツ活動を育成・支援し、指導者等の養成を行い、地域スポーツの振興を図る。

事業名		開催場所	対象者	実施月等		延参加者
スポ・レク体験事業 ※ <sup>2</sup>		荻窪体育館(小体育室)	一般区民	4月	1回	107人
スポーツアドバイザーの派遣		区立体育館	一般区民	4月～3月	222回	259人
専門家派遣事業		区立小・中学校	小・中学生	6月～2月	19回	1,595人
児童館等連携事業		区立児童館等	小・中学生等	6月～3月	151回	3,010人
スポーツ・レクリエーションの出張教室		民間障がい者通所施設	障がい者等	8月～2月	24回	815人
すぎなみ スポーツ アカデミー	スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会	区内体育施設ほか	一般区民	1月～3月	1回	27人
	ジュニアスポーツ支援講座		小・中学生	6月～3月	6回	137人
	地域スポーツ関係団体専門科目		一般区民	12月～1月	2回	64人
	フォローアップ講座		一般区民	6月～3月	3回	115人
杉並区スポーツ協会事務局 杉並区スポーツ・レクリエーション協会事務局		スポーツ団体	スポーツ団体			
講演会・講習会の開催		タウンセブンホール	一般区民	2月	1回	56人
総合型地域スポーツクラブ設立・運営支援		セシオン杉並	一般区民	2月	1回	21人
初級バラスポーツ指導員養成講習会		TAC杉並区永福体育館	一般区民	7月	3日	60人
スポーツ用具の貸出 ※ <sup>3</sup>		区内施設	区内施設等	4月～3月		99件
					延参加者合計	6,266人

※<sup>2</sup> スポ・レク体験事業は、杉並区スポーツ・レクリエーション協会と杉並区スポーツ振興財団の共催で実施した。

※<sup>3</sup> スポーツ用具の貸出については、貸出件数を掲載しているため、延参加者合計等には含めていない。

総事業数	11事業	延参加者総数	6,266人
------	------	--------	--------

## (3) スポーツの振興及び地域振興のための普及啓発事業（第3号事業）

広報紙やホームページ等の活用により、スポーツに関する情報を提供し、スポーツの普及啓発を図る。

項目	対象者	内容
広報紙の発行	一般区民	財団の広報紙「マイスポーツすぎなみ」を発行した。年5回742,050部
財団ホームページ	一般区民	体育施設利用案内、教室・大会等の案内、クラブ紹介、広報紙「マイスポーツすぎなみ」の掲載、教室・イベントの申込受付等を行った。
SNS	一般区民	事業の募集情報や内容の紹介、天候による開催の有無などを、Xなどを活用して情報発信を行った。
歩っ人すぎなみ	一般区民	財団ホームページから「歩っ人マップ」をダウンロードできるようにしている。

総事業数	4事業
------	-----

#### (4) 杉並区から受託するスポーツ及びレクリエーション事業（第4号事業）

杉並区から受託するスポーツ振興事業及び委託事業を実施し、区民へのスポーツの普及・振興を目的とした教室やイベントへの参加の機会を提供する。

##### ▼ プール

開催場所	種 目	対 象 者	実 施 月 等		延 参 加 者
杉並第十小学校温水プール	小学生チャレンジスイム教室Ⅰ①	小学1～2年生	4月～7月	8 回	120 人
	小学生チャレンジスイム教室Ⅰ②	小学3～6年生	4月～7月	8 回	146 人
	小学生チャレンジスイム教室Ⅱ①	小学1～2年生	9月～12月	8 回	126 人
	小学生チャレンジスイム教室Ⅱ②	小学3～6年生	9月～12月	8 回	137 人
	もうすぐ小学生水泳教室	年中・年長	3月	4 回	73 人
	にがてにチャレンジ水泳教室	小学1～2年生	3月	4 回	62 人
	アーティスティックスイミング入門教室	小学生	4月～10月	19 回	184 人
	アーティスティックスイミング教室(経験者)	小学4年～中学生	4月～10月	19 回	90 人
	アーティスティックスイミング体験会	小・中・高校生	3月	1 回	17 人
	ベーシックアクアサイズ	一般区民	4月～3月	10 回	195 人
	シェイプアップアクアサイズ	一般区民	4月～3月	10 回	203 人
	知的障がい者水泳教室	知的障がい者	12月～2月	4 回	32 人
	泳力アップコース(初級・中級)	一般区民	4月～3月	18 回	100 人
	個人向けワンポイントレッスン	一般区民	4月～3月	18 回	132 人
	ブレストナイト①②春秋冬	一般区民	4月、10月、11月、1月	6 回	91 人
	クロールナイト①②春秋冬	一般区民	5月、11月、2月	6 回	87 人
	バタフライナイト①②春秋冬	一般区民	6月、12月、3月	6 回	101 人
	夏休みワンポイントレッスン①②	一般区民	7月～8月	5 回	78 人
	うきうきウォーキング	一般区民	10月、11月	3 回	28 人
	初心者向けビギナースイム	一般区民	1月	3 回	24 人
ゆるゆる水中運動教室	一般区民	11月、12月	3 回	28 人	
スポーツフェスティバル	一般区民	10月	1 回	741 人	
延参加者合計					2,795 人

▼ 区から受託する教室・イベント

事業名		開催場所	対象者	実施月等		延参加者
障害者スポーツネットワークへの支援	ユニバーサルタイム (荻窪6回・上井草12回・永福4回)	TAC杉並区上井草スポーツセンター、荻窪体育館、TAC杉並区永福体育館	障がい者等	4月～3月 (荻窪は4～9月)	22回	465人
	障害者スポーツネットワーク会議	TAC杉並区上井草スポーツセンター、荻窪体育館、杉並区役所	一般区民、障がい者	5月～2月	9回	62人
ふれあい運動会		杉並第十小学校	障がい者等	10月	1回	322人
ふれあいフェスタ		セシオン杉並	一般区民、障がい者	12月	1回	314人
ふれあいスポーツ・レクリエーション体験会		高井戸地域区民センター	一般区民、障がい者	3月	1回	169人
東京2025デフリンピック応援イベント		TAC杉並区永福体育館	一般区民、障がい者	7月	1回	321人
延参加者合計						1,653人

▼ 区の事業への応援

事業名	開催場所	対象者	実施月等
重度心身障害者スポーツ教室(わいわいスポーツ教室)	TAC杉並区上井草スポーツセンターほか	障がい者	年6回
杉並区中学校対抗駅伝大会	都立和田堀公園 済美山運動場	中学生	12月

総事業数	8事業	延参加者総数	4,448人
------	-----	--------	--------

(5) 杉並区から受託するスポーツ施設の管理及び運営に関する事業（第5号事業）

杉並区から受託するスポーツ施設について、「杉並区体育施設等に関する条例・同条例施行規則」等に基づき、公平・公正な管理運営を行う。

① 業務受託契約に基づく管理施設(受付業務)

施設	延利用者
蚕糸の森公園運動場	25,011人
杉並第十小学校温水プール	87,364人

※ 業務受託施設の利用料は区の歳入としている。

② 団体登録受付事務

杉並区のスポーツ振興に寄与する団体を「社会体育団体」として認定し登録することにより、団体の育成を図る。  
(令和7年度末現在登録団体数:5,022団体)

## (6) 公益目的事業該当性を確保するための取組

- ① 講座、セミナー、育成について
  - ・実施に当たっては、公募により参加者を募った。(不特定多数の者の利益の増進)
  - ・実施に当たっては、杉並区広報紙、財団広報紙、財団ホームページ、チラシの配布などにより、広く情報提供を行った。(受益の機会の公開)
  - ・受講対象者は全ての杉並在住・在勤・在学者とし、プログラムも幼児から高齢者、初心者から上級者、勤労者、障がい者向けに幅広い内容を提供した。(受益の機会の公開)
  - ・講師については、杉並区スポーツ協会加盟の各スポーツ団体所属者や、スポーツ界で活躍している方等、専門性が高く、指導力のある者とし、プログラム内容の受講者への定着については、アンケートの実施などにより確認した。(専門家の適切な関与)
  - ・講師については、公益目的事業である趣旨を理解いただき、謝礼・委託料については、財団の基準に基づき適正な対価を支払った。(過大な報酬となっていないか)
- ② 施設の貸与について(蚕糸の森公園運動場、杉並第十小学校温水プール)
  - ・杉並区から受付管理等業務を受託するスポーツ施設について、同区の条例・規則等に基づき、区民に対して公平に貸し出した。(不特定多数の者の利益の増進)
  - ・杉並区の行政使用や共催・後援事業については、同区の条例・規則等に基づき、適正に先行予約を受け付けた。(公益目的での貸与の優先)
- ③ 競技会について(杉並区スポーツ祭)
  - ・実施に当たっては、杉並区広報紙、財団ホームページ、チラシの配布などにより、広く情報提供を行った。(公益目的として設定した趣旨に沿っているか、例えば親睦会のような活動にとどまっていないか)
  - ・各種目の公式ルールに基づき競技を行い、「杉並区スポーツ祭開催基準要項」に基づき、公正なルールに則った大会運営を行った。また、同要項は、杉並区の体育施設において提供するとともに、財団ホームページで公開した。(公正なルールを定め、公表しているか)
- ④ 上記①から③に該当しないものについて
  - ・情報提供の方法について、財団広報紙は新聞折り込みにより杉並区内各世帯へ配布するとともに、区内公共施設や鉄道の各駅に設置し、広く区民の手に届くようにした。また、財団ホームページ上での情報提供を行った。また、スポーツ専門家の派遣については、毎事業年度当初に各区立小中学校、児童館へ事業の目的、実施内容を周知し、派遣の要望を受け付けた。(受益の機会の公開)
  - ・スポーツ専門家の派遣については、実績のある指導者や選手を、杉並区スポーツ協会やスポーツ関係事業者などを通して選出し派遣した。(事業の質を確保するための方策)
  - ・専門家派遣事業について、派遣の依頼を常時受け付けており、依頼内容に応じて予算の範囲内で対応した。(審査・選考の公正性の確保)
  - ・提供する情報は特定の団体の宣伝等にならないよう留意した。(公益目的として設定した事業目的と異なり、業界団体の販売促進、共同宣伝になっていないか)

※上記①から④の項目名は、変更認定申請書の別紙2「法人の事業について」の2(1)〔3〕「事業の公益性について」における事業区分による。

## (7) 運営体制の充実を図るための取組

- ① 評議員、理事、監事について
  - ・評議員及び理事・監事については、障害者分野、高齢者分野、経済分野、町会・自治会分野など、多様な分野から推薦を受け、評議員会において選任している。
- ② 法人内部における規範について
  - ・文書管理規則や公印規則など、財団内部における規範として、規程、規則、要綱などを整備している。
- ③ 不祥事の予防の仕組みについて
  - ・予算の支出に当たっては、決裁権者が確認する前に、担当係長や係長が関与者として確認を行っている。
  - ・現金及び郵券の月末時の残高について、現物と帳簿の照合を行っている。
- ④ 事業の効果に係る定性的、定量的測定について
  - ・例年、杉並区が実施する財団等経営評価において、財団として評価表を作成し、事業実施に係る定性的、定量的測定を行っている。
  - ・財団スポーツ推進プラン(令和5年度～令和12年度)を策定し、その中で5つの指標について、それぞれ目標値を掲げ事業を進めている。
- ⑤ 研修について
  - ・職員に対して、リスク管理、コンプライアンス、業務改善などに関する研修を実施している。
- ⑥ 専門家からの助言の活用について
  - ・財務会計、労務管理、理事会・評議員会の運営の分野において、外部専門家に適時に助言を求めることができる環境を整えている。

### 3 理事会開催状況

回数	開催年月日	番号	件名	結果
第1回	令和7年 4月25日	議案第1号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和6年度事業報告について	原案承認
		議案第2号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和6年度決算について	原案承認
		議案第3号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和7年度第1回評議員会の招集について	原案承認
第2回	令和7年 6月13日 (書面決議)	議案第4号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和7年度第2回評議員会の「決議の省略」について	原案承認
第3回	令和7年 10月31日	議案第5号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	原案承認
		報告第1号	理事長及び常務理事の職務執行報告(令和7年度上半期分)について	報告了承
		報告第2号	事業実績報告(令和7年度上半期分)について	報告了承
		報告第3号	令和8年度予算書(案)作成の基本的な考え方について	報告了承
第4回	令和8年 3月19日	議案第6号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度事業計画について	原案承認
		議案第7号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度収支予算について	原案承認
		議案第8号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて	原案承認
		議案第9号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度公益目的事業の種類及び内容について	原案承認
		議案第10号	役員賠償責任保険の加入について	原案承認
		議案第11号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度常勤役員の報酬額について	原案承認
		議案第12号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団就業規程の一部改正について	原案承認
		議案第13号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団財務規程の一部改正について	原案承認
		議案第14号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和7年度第3回評議員会の招集について	原案承認
		報告第4号	理事長及び常務理事の職務執行報告(令和7年度下半期分)について	報告了承
		報告第5号	事業実績報告(令和7年度下半期分)について	報告了承

# 公益財団法人杉並区スポーツ振興財団理事及び監事名簿

(順不同)

令和8年3月31日

	氏 名	役 職
理事長	白垣 学	杉並区副区長
常務理事	武田 護	杉並区スポーツ振興財団常務理事
理事	枡尾 秀治	杉並区スポーツ協会 会長
理事	堀切 良浩	杉並区スポーツ協会 理事長
理事	飯島 典子	杉並区スポーツ協会 副理事長
理事	野田 信雄	杉並区スポーツ・レクリエーション協会 会長
理事	長谷川 昭司	杉並区商店会連合会 副会長
理事	松岡 昇	杉並区スポーツ推進委員の会
理事	渋谷 正宏	杉並区教育委員会教育長

監事	松重 忠之	日本公認会計士協会東京会杉並会 幹事
監事	喜多川 和美	杉並区会計管理室長

## 4 評議員会開催状況

回数	開催年月日	番号	件名	結果
第1回	令和7年 5月12日	議案第1号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和6年度決算について	原案承認
		議案第2号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団評議員の選任について	原案承認
		報告第1号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和6年度事業報告について	報告了承
第2回	令和7年 6月24日  (書面決議)	議案第3号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団理事の選任について	原案承認
		議案第4号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団評議員の選任について	原案承認
第3回	令和8年 3月27日	議案第5号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度事業計画について	原案承認
		議案第6号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度収支予算について	原案承認
		議案第7号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度資金調達及び設備投資の見込みについて	原案承認
		議案第8号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度公益目的事業の種類及び内容について	原案承認
		議案第9号	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団令和8年度常勤役員の報酬額について	原案承認

# 公益財団法人杉並区スポーツ振興財団評議員名簿

(順不同)

令和8年3月31日

氏名	役職
碓井 和夫	杉並区スポーツ協会 副会長
山口 由記子	杉並区スポーツ協会 副会長
武内 広光	杉並区スポーツ協会 常任理事
石山 恵子	杉並区スポーツ・レクリエーション協会 理事長
齋藤 元紀	高千穂大学 学長
槻木 克美	杉並区町会連合会 常任理事
伊東 成子	杉並区障害者団体連合会 委員
佐山 朝子	杉並区いきいきクラブ連合会 会長
吉岡 光弘	杉並区立小学校長会 (方南小学校長)
長谷川 学	杉並区立中学校長会 (井荻中学校長)

以上のとおりであるが、令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

公益財団法人 杉並区スポーツ振興財団